

HEALTHY Information

Hot Mail

女性特有の病気
子宮頸がんについて

パート1

子宮頸がんは世界的に女性が罹患するがんとして、乳がんに次いで発症率、死亡率ともに高いがんです。近年、若年層で発症が増加しています。

子宮頸がんは子宮頸部（子宮の入り口）にできるがんです。初期の段階では自覚症状がほとんどないため、しばしば発見が遅れてしまいます。進行すると、不正出血、おりものの異常、性交後出血などが認められるようになります。

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス（HPV）の一部のタイプが原因となっていると考えられています。その中でもHPV 16型、18型の2種類は、特にがんになりやすく、20～30歳代の子宮頸がん患者から高い頻度で見つかっています。

子宮頸がん検診では細胞診の検査を行います。子宮頸部を擦過するだけという簡便な検査です。予防法としてHPV 16型・18型の感染を防ぐことができるワクチン（サーバリックス）があります。3回接種で対象年齢は10歳以上です。

検診、ワクチン接種は当院でも受け付けています。予約制となっておりますので詳しくは当院スタッフまでお問い合わせください。



行事報告

7月22日 ほかほか夏まつり



当院ほかほか倶楽部主催の夏まつりが行われました。輪投げ・うちわ作りなどのミニゲームを楽しんだり、花火の映像を見たり…。夏を感じていただきました。

8月6日 納涼盆踊り大会

昨年は雷雨に見舞われ一時中断となりましたが、今年は朝から猛暑！夕方の開催時間になっても気温は高いままで、飲み物やカキ氷など冷たい物のブースには買い求める方の列がいつになっても切れませんでした。毎年のことですが、参加していただいた町内会や近隣住民の方とふれ合ったり、職員は家族を招いたり、ひと夏の思い出作りができました。



行事予定

ひだまりの会

- 日時／ 10月2日(土) 13:30～
- 会場／ たま日吉台病院 リハビリテーション室にて
- 内容／ 「脳卒中について」
- 演者／ たま日吉台病院 脳神経外科医 張 智為

ほかほか倶楽部「長寿を祝う会」

- 日時／ 10月20日(水) 14:00～
- 会場／ たま日吉台病院 いきいき広場にて
- 内容／ 表彰式、保育園児による歌と踊り、写真撮影等

保育室から

納涼盆踊り大会



今年も納涼盆踊り大会に参加しました。子どもたちは踊りをすぐに覚え、毎日楽しんで練習をしていました。本番では、手作りのうちわを持って張り切って踊っていた子どもたち。保護者の方にも参加していただき、今年もお祭りをみんなで楽しみました。

編集後記

今年の夏は、今までに例をみない猛暑続きの毎日でした。そして残暑も厳しいものですが、ようやく秋の訪れを感じられる季節になりましたね。

今回は、在宅部門に焦点を当てました。病院なのに在宅？と思われる方もいると思いますが、在宅で療養されている方に訪問診療や看護、介護などを行うことは、病院業務の大事な一つなのです。

私たちは、誰でも病気にはなりたくなければ、入院もしたくありません。そして、住み慣れた家でずっと暮らしたいと思うことは当然です。健康な毎日を通して、自分の好きな街や家、そして家族といつまでも元気に暮らしていきたいです。

編集委員 Y・T

みんなの広場

ひだまり

医療法人社団 晃進会
〒215-0013 神奈川県川崎市麻生区王禅寺1105
TEL:044-955-8220 FAX:044-953-8199
E-mail: info@tamahiyoshi.or.jp

秋
2010 Autumn
Vol.24 平成22年 10月1日 発行
www.tamahiyoshi.or.jp



訪問看護ステーションよろこび

晃進会が支える在宅医療・介護



ヘルプーステーションひまわり



訪問診療

たま日吉台病院
のサイトはこちら



新富士病院グループ

医療法人社団【神奈川県】

晃進会

- たま日吉台病院
- よろこび(訪問) ほか

医療法人社団【静岡県】

喜生会

- 新富士病院
- ヒューマンライフ富士(老健) ほか

医療法人社団【東京都】

三医会

- 鶴川記念病院
- ひまわり(訪問) ほか

社会福祉法人【静岡県】

秀生会

- ヒューマンヴィラ伊豆(特養)
- ヴィラージュ富士(特養) ほか

医療法人財団【東京都】

逸生会

- 大橋病院
- ラポール高島平

社会福祉法人【神奈川県】

美生会

- ヴィラージュ川崎(特養)

晃進会の在宅医療・介護

現在、医療の現場が変化しています。病院での療養と共に、患者様の状況と状態に応じて在宅での医療が必要とされています。晃進会では在宅療養の各分野をいち早くサービスとして提供し、地域の皆様のお役に立てるよう努力を続けています。今回は在宅サービスの各分野が一つのチームとして連携している晃進会の在宅部門を皆様にご紹介します！

■晃進会の在宅医療についてのご相談は

総合相談部：Tel.044-955-8220 までお問い合わせください。

訪問リハビリテーション

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が利用者様の目的に合わせ、ご家庭に訪問させていただきます。ご自宅での機能練習や、スムーズで快適な生活が送れるよう環境整備、移動方法などのアドバイスをします。晃進会には専門のリハビリ療法士17名が在籍し、住み慣れた中での療養支援を行っています。

訪問診療

さまざまな困難により通院できない患者様のために、晃進会では訪問診療を行っています。在宅での早期回復を願い、患者様の「かかりつけ医」として地域の安心を担います。医師の判断の下、訪問看護・訪問薬剤・訪問リハビリの各専門チームと連携を行い患者様の在宅療養をサポートします。

医療法人が持つ在宅部門の役割

政府は、在宅医療の担う役割を拡大し、重点課題の一つに挙げています。在宅医療を「本人が選べる」段階に来ているのです。しかし、家族の負担が大きいのも現実であり、そこを埋めるためには、在宅でのきめ細かい支援が重要な役割を果たすと考えます。関係職種の技術と精神的サポートはプロ集団が密な連携を取り、関わる必要があります。私たちの医療法人社団晃進会の在宅部門は、医療施設と在宅支援が密接に連携し、利用者様・ご家族のニーズに的確、そして「癒しの心」を目標に、日々努力しています。

訪問薬剤指導

医師の指示により、通院することが困難な患者様に薬剤師が訪問いたします。処方医と相談し、患者様に最も適した調剤方法を検討した上で調剤し、薬の使い方や使用上の注意点などについて丁寧に説明させていただきます。

訪問栄養指導

当院の管理栄養士が通院困難な患者様のご自宅を訪問し、食生活をサポートいたします。患者様の生活状況や嗜好に配慮した栄養管理計画書を管理栄養士が作成し、その栄養管理計画書を基にアドバイスや情報提供を行います。また、計画に応じて調理指導も行います。

訪問看護

(訪問看護ステーションよろこび)

訪問看護師は、地域の皆様の生活を「健康面」からサポートいたします。医療処置から医療機器の管理、また医師との連携を取りながら健康管理や療養生活の相談など幅広く対応しています。利用者様、ご家族との信頼関係を大切に、「専門知識と技術」で「安心した生活」が送れるよう心がけ、24時間の緊急対応も行っています。「健康に不安…」を感じたら、お気軽にお声をかけてください。

訪問看護・介護の連携

医療依存度の高い利用者様には訪問看護と訪問介護の連携が不可欠です。晃進会では看護と介護の連携を深めることで、患者様の状態の変化に素早く対応することができます。「安心」を追求する晃進会の在宅療養システムをぜひご利用ください。

利用者様／患者様

在宅部門会議

在宅部門の責任者が会議を行い、各部門の調整・連携の強化を図ります。これにより在宅での医療・福祉の総合的なサービスを実現します。

訪問介護

(ヘルパーステーションひまわり※)

訪問介護には「家事援助」と「身体介護」があります。当事業所は「家事援助」はもちろんのこと、特に「身体介護」については、提携病院での研修を重ねた熟練のヘルパーが多数在籍していることで、大きな強みとなっています。24時間体制で、医療依存度の高い利用者様にも数多く支援させていただいておりますので、お気軽にご相談ください。

※提携運営
有限会社ヒューマンケア
Tel.045-909-5722

ケアマネジャー

要介護状態になった方、またそのご家族と「どんな生活がしたいか」を一緒に考えていきます。必要な社会資源(訪問介護・デイサービス・福祉用具・施設など)を紹介し、介護状態に合わせた計画(ケアプラン)を利用者様・ご家族と共に立てていきます。

福祉用具貸与事業

ヘルパーステーションひまわりでは、福祉用具貸与事業も行っています。自立した日常生活を送るために、利用者様の介護状態に合った福祉用具を専門相談員がアドバイスいたします。ご自宅に福祉用具を導入することで、生活範囲の拡大や、介護者の負担軽減を支援します。